

旧石器ハテナ館だより

せんとうき

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館

史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館

神奈川県相模原市中央区田名塩田 3-23-11
TEL 042 - 777 - 6371

令和6年9月25日
【第47号】



ハテくん

テナちゃん



土器の野焼きを行いました！

6月の体験教室で土器を製作しました。土器はハテナ館で乾燥してまいりましたが、去る、9月5日(木)、南区磯部の勝坂遺跡公園におきまして、野焼きいたしました。縄文時代は窯を用いず、土器を野焼きしていたと考えられており、今回も、その方法に従って、土器づくりの会のご協力も受けながら、行うことができました。焼きあがった土器は、後日、それぞれ取りに来ていただきました。今後も、土器づくりの体験教室は継続していく予定ですので、興味のある方は、来年度以降、ぜひ、お申し込みください。



ハテナ館これからの体験教室

(カッコ内は対象と体験料)

◎通年の体験

・**勾玉づくり**(小学4年以上 300円)

・**矢じりづくり**(小学4年以上 200円)

・**火おこし体験**(小学生以上 無料)

◎月替り体験

【10月】**火おこし道具づくり**(小学4年以上 200円)

【11月】**銅鏡レプリカづくり**(小学4年以上 1000円)

【12月】**黒曜石で尖頭器づくり**(小学4年以上 700円)

【1月】**埴輪づくり**(小学4年以上 500円)

【2月】**ガラスの玉づくり**(小学4年以上 1000円)

【3月】**編布コースターづくり**(小学生以上 200円)

○体験教室は**予約制**です。3日前までに、旧石器ハテナ館に電話か直接来館し予約してください。月替り体験は、その月の1日から予約申込を受け付けます。なお、通年体験の魔鏡づくりは材料品切れのため、現在準備中です。



ハテナ館これからのイベント

【10/19(土)】(雨天中止)

ハテナ館まつり: 魚釣りや弓矢の射的、土のアクセサリーづくりなど、さまざまな体験も準備しています。

【10/26(土)】

講演「川原石のふしぎ」

講師:市立博物館学芸員 河尻清和氏

【11/9(土)】

探訪「遺跡探訪 田名塩田の旧石器・縄文を探る」

講師:市立博物館学芸員 長澤有史氏

【2/1(土)~4/8(火)】

ミニ展示「遺跡の宝庫さがみはら~旧石器時代~」

【2/15(土)】

講演「さがみはらの旧石器時代」(仮)

講師:明治大学 安蒜政雄先生

○講演(10/26、2/15)、探訪(11/9)は**予約制**です。詳しくは、市の広報、または市のホームページをご覧ください。



田名向原遺跡って、何？

史跡田名向原遺跡は、およそ2万年前(旧石器時代)の建物の跡(住居状遺構)です。12の柱の穴の跡、2つの炉の跡、それらを取り囲む環状円礫、約3000個の石器等がそろって見つかった旧石器時代の遺跡は、日本国内でもここだけ。とても貴重な遺跡です。隣接する旧石器ハテナ館に、説明の展示等があります。また、第1~4日曜日には、文化財ボランティアの方々が、遺跡公園と旧石器ハテナ館の解説案内を行っています。

講演「土器のはじまり」

7月20日(土)に、中央大学教授の小林謙一先生をお招きし、講演していただきました。

日本における土器のはじまりを世界という視点で考察し、日本列島における土器の広がりの様子から、住居跡から定住生活などに話が及び、最後には縄文時代がいつはじまったかについての小林先生の見解が語られました。当日は、多くの方に参加していただき、講演後には活発に質問など行われていました。新たな課題も見つかるなど、とても有意義な講演会となりました。



講座「くだいて・つぶして・絵をかいて

～縄文人と岩絵具の世界～

8月3日(土)に、女子美術大学名誉教授の橋本弘安先生をお招きし、岩絵具に関するご講演と実技指導をしていただきました。

相模川の石などを材料に、細かく砕き、すりつぶした上にのりを混ぜ、一人ひとりが自分だけの絵の具を作りました。そして、思い思いの絵をウチワに描いてきました。予定した時間をオーバーするほど、みなさんとても熱心に描いていました。参加した小学生が、「楽しかった」とうれしそうに感想を述べていたのが、とても印象的でした。



☆今年度前半これまでの体験教室の振り返り☆

今年度も、体験教室は通年と月替りの二本立てで行っています。どの体験も、みなさん熱心に取り組まれ、それぞれ、古代の人たちの暮らしや技術を体験しています。

◎弓矢づくり(4・5月)

弓矢づくりのだいご味は、やはり試射でしょう。自分が作った弓と矢を使って、的であるイノシシやシカをめがけて射ました。みなさん、続けて射っていくうちに、命中率が高まっていました。



◎土器づくり(6月)

参加者の個性があふれたのが土器作りです。特に、形を作ってから模様付けは、たくさんの道具の中から選んで自分だけの模様をつけたり、自分で考えた部品をくっつけたりと、それぞれ自分なりの工夫をされていました。

◎からむしねじり編みでストラップづくり(7月)

ねじり編みは慣れないと難しいので、いったん麻ひもで練習し、本番に臨みました。細かい作業に、みなさんとても丁寧に取り組んでいました。



◎拓本ランプシェード(8月)

風船の上に紙を貼りつけるランプシェードづくりは、やや根気が必要ですが、みなさん頑張って取り組んでいました。拓本は、専門的技法の体験となったのではないのでしょうか。



◎火おこし道具づくり(9月)

体験者はきりもみ式道具か火打ちがねのどちらか一つを選び、自分だけの火おこし道具を作りました。これからも、自分の作った道具で、火おこしにチャレンジしていただければと思います。

◎通年の体験では、矢じりづくり、勾玉づくり、魔鏡づくり、火おこし体験を行いました。勾玉づくりは、滑石をやすりで削り、最後は自分の好きな色の津久井紐をつけて、きれいな首飾りに仕上げていました。火おこし体験は、実際にやってみるとなかなか難しいのですが、体験されたみなさんは根気よく努力され、火がついたときはとても喜んでおられました。